ばっけ

第103号
発　行　令和4年10月
放送大学秋田学習センター
TEL　018－831－1997

「420分」

放送大学秋田学習センター客員教授　　若狭　正彦

420 分（7 時間）と聞いて何を連想しますか？勤務時間？睡眠時間？趣味活動に使う 1 週間当たりの時間？1週間当たりの運動時間？

ある研究の報告[1)]によると、この 420 分という数字は日本人が 1 日のうちで行っている活動に費やしている時間であり、そしてその研究に参加した諸外国の中で日本が最長時間だったという報告でした。

答えは「座っている時間」です。1 日のうちで「7 時間も座っている」そうです。（図1）

どうでしょう？この時間は長いでしょうか？短いでしょうか？普通でしょうか？

この研究結果はコロナ禍になる数年前、少し話題となりましたが、現在はコロナ禍ということで、つい最近の科学雑誌にも取り上げられておりました。コロナになる数年前、初めてこの研究結果があるメディアに取り上げられて以降、色々なところで同様の数字（結果）を目にするようになり、またあまりにもネガティブな結果として紹介するため、正確な情報を知りたくその研究論文を探し当て、実際に読んでみました。その結果は、本当に世界 1 と言っていいのだろうか？と少し疑ってしまう内容に近いものでした。それは各国の調査された年齢層が大きく異なっているからです。一番少ないとされるポルトガルは 40～65 歳、オーストラリアは 18～64 歳。一方、日本人は 18～39 歳です。この年齢層である日本の大学生や社会人の生活様式を考えてみると、9 時から 17 時まで大学や会社でほぼ座学・デスクワークではないでしょうか？一方で諸外国はどうでしょうか？またアンケート対象となった方々の背景や仕事の種類なども明らかにされておりません（教育歴は調査されており、高学歴の方が、より長く座っているという結果を示しておりました。）。大学でもデスクワークでもじっと 7 時間も座り続けているというわけではないだろうし、個人に対してのアンケート調査なので限界はあると思います。この 420 分という数字が独り歩きをしている感じではありますが、ただ間違いなく言えることは、「長時間の座位姿勢をとる」という行為は、その座っている時間によって身体に弊害が起こる危険性があるということです。座り続けるということは、その時間、脚の筋肉をあまり動かさないことになり、結果的に筋肉の動きによって血管が刺激され血流が向上するといったことが起きなくなります。私たちは筋肉でエネルギーを消費しています。よって筋肉でエネルギーを消費しないため、筋肉のエネルギー源となる血中の中性脂肪や糖などが消費されなくなり、結果的に、動脈硬化の進行などが起き、生活習慣病のリスクが高まってしまいます。医学的な研究においても座位時間と糖尿病罹患率を調べた結果では、1 日 6 時間未満の人に比べ、10 時間以上座っている人は、糖尿病に罹患する確率が 1.84 倍高くなるという報告[2)]やテレビ視聴時間が 1 日のうち、1 時間未満の人と 7 時間以上の人とでは、冠動脈疾患死亡リスクは 2 倍高くなるという研究結果も報告[3)]されております。

次ページにつづく

このように運動不足が身体にもたらす弊害は明らかです。長時間のまとまった運動を行わなくても、座学の時間、デスクワークの合間に、ちょこっと立ち上がってスクワットをしたり足踏みをしたり、こまめに体を動かすだけでも効果はあります。運動不足、活動不足から全身の筋肉量が減ってしまうサルコペニア、そしていわゆる健康な状態と要介護状態・寝たきり状態のハザマに位置するフレイル状態になるのを予防するためにも、日常生活の中でこまめに体を動かしていきましょう。

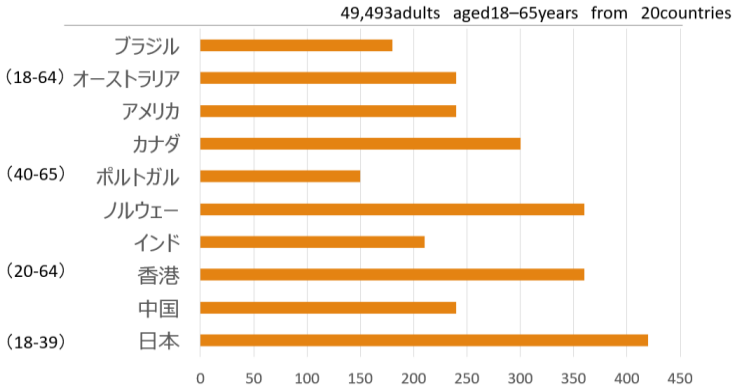


図１） The descriptive epidemiology of sitting. A 20-country comparison using the International Physical Activity Questionnaire (IPAQ).より改変

1）Adrian Bauman, et al. The descriptive epidemiology of sitting. A 20-country comparison using the International Physical Activity Questionnaire (IPAQ). Am J Prev Med, 2011. Aug;41(2):228-35)

2）Honda T, et al. Objectively measured sedentary time and diabetes mellitus in a general Japanese population: The Hisayama Study. J of diabetes invest. 2019 May;10(3);809-816

3）Matthews C, et al. Amount of time spent in sedentary behaviors and cause-specific mortality in US adults. Am J Clin Nutr. 2012；95：437-445

2022年度第1学期
ご卒業おめでとうございます！

秋田学習センターでは、2022年度第1学期をもって、教養学部生12名が卒業されました。
教職員一同心からお祝い申し上げます。
10月2日（日）に、秋田学習センターにおいて、新型コロナウイルス感染防止を図りつつ出席者を限定し、学位記授与式が挙行されました。卒業生6名が出席し、式は滞りなく終了しました。

学位記授与式の様子（学歌演奏）

学位記授与式　記念撮影

所長表彰

平成26年度に制定した「放送大学秋田学習センター所長表彰取扱要項」に基づき、所長表彰式を10月2日（日）の学位記授与式終了後に開催しました。
受賞された皆様、誠におめでとうございます。

【学部において4コースを卒業された方】

・高　橋　亮　介 さん （全科履修生）： 生活と福祉コース、心理と教育コース、社会と産業コース、情報コース
・松　本　美知子 さん （全科履修生）： 生活と福祉コース、心理と教育コース、社会と産業コース、人間と文化コース

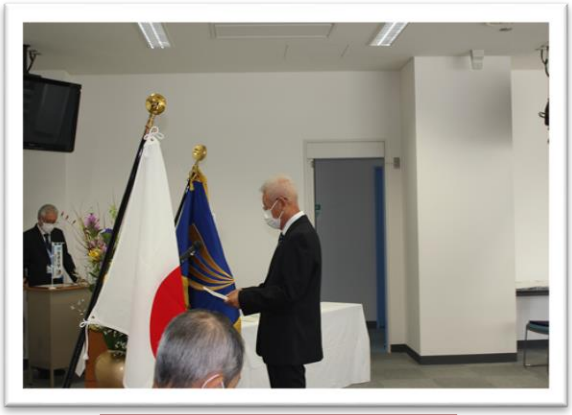
【エキスパートの認証を取得された方】

・阿　部　明　子 さん （全科履修生）： 心理学基礎
・佐　藤　満　雄 さん （選科履修生）： 健康福祉運動指導者
・斎　藤　由紀子 さん （全科履修生）： 芸術系博物館活動支援、歴史系博物館活動支援
・深　田　紗　弥 さん （全科履修生）： 福祉コーディネータ
・鈴　木　由　彦 さん （全科履修生）： 心理学基礎
・藤　井　豊　子 さん （全科履修生）： 健康福祉運動指導者、福祉コーディネータ

※ご本人から同意いただいた方の、氏名を掲載させていただいております。

※新型コロナウイルス感染防止のため、撮影時のみマスクをはずして撮影しております。

倉林所長式辞



卒業生代表謝辞

2022年度第1学期卒業証明書・学位記授与式卒業生代表謝辞

『放送大学卒業にあたって』

本日は、新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見えないなかで、私たち卒業生のために学位記授与式を開催して頂き、誠にありがとうございます。

私は六十歳の還暦を期に若い頃から懐いていた、いつかは法律を学んでみたいという思いを実現するために放送大学に入学致しました。

学習を進めていくうちに興味のある科目、コースが増えて、あっという間に10年が過ぎ、この間に2回再入学をし、一回目は法律と社会科学を、二回目は社会福祉の現状と課題そして複雑な制度内容を、三回目は太陽系を中心とした宇宙の成り立ちと植物の生態について学ぶことができました。これらのことは、私のこれからの生き方においても大きなバックボーンになるものと思います。

この10年を顧みますと、私生活に於いても色々な出来事がありましたが、農作業の合間に学習することが主であったため、学習時間の確保には苦労しましたが、幸い学習を辛いと感じたことが殆どなく、むしろ充実感と喜びの連続であったと思います。

そして今日卒業を迎える事が出来ましたのは、放送大学並びに秋田学習センターの教職員のご支援とご指導、そして家族の協力の賜物と深く感謝申し上げます。

これからは、これまで学んできたことを、ボランティアで行っております環境巡視員活動の機会などに於いて活かしていければと考えております。

また、今月からは、新たなコースに再入学をして学習を継続することにしておりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

本日は、誠にありがとうございました。

2022年10月2日　卒業生代表　工藤　辰夫

2022年度第1学期
卒業生の皆様からメッセージをいただきました。

小川　正和　さん　ー社会と産業コースー

秋田学習センター教職員の皆様、在学中はいろいろとサポートしていただきありがとうございます。放送大学秋田学習センターで学び、卒業できますことに感謝申し上げます。
私は、来年会社を定年退職しますが、いくつになっても学び、これからの人生にチャレンジしていきたいと思います。

高橋　昭　さん　ー心理と教育コースー

高校卒業と同時に社会に出たのですが、友人が他大学ではありましたが通信で学んでいることを知り、「学士」になる道があると気づき放送大学で学ぶことにしました。18期9年。この間に定年退職し、現在は新しい職場で働くことになるなど大きな変化も生じていますが、面接授業で他の学生の学ぶ姿に励まされ、卒業できたことに感謝しています。

西村　陽子　さん　ー人間と文化コースー

私が「放送大学」と出会ったのは図書館でした。退職後入学しました。60代後半でした。母の介護しつつでしたのでなかなか大変でしたが、精神的にも勉強への切り換えによって母にもやさしくできて、より頑張って卒業を迎えることが出来ました。現在、市の食生活改善の会に参加し、減塩を広めて、全国1位の成人病を変えようと活動しています。次のコースは、生活と福祉コースを選びました。コロナ、自然環境の変化、世情の不安等ふまえつつ、学びを続けようと思っています。引き続き大学並びに学習センターの皆様宜しくお願い致します。

ー生活と福祉コースー

社会人になる前は好きなことに打ち込み、勉強は二の次になっていましたが、就職しお金を貯めて、自分の力で放送大学を卒業できたことは私の一つの自信となりました。また、仕事と勉強した内容が結びつき、学びが深くなるとともに日常生活における視野が広がったと感じます。社会人になってから勉強の機会を作ってくれた放送大学に感謝し、これからも頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

2022年度第2学期
ご入学おめでとうございます！

2022年度第2学期入学者118名の皆様、ご入学おめでとうございます。
10月2日（日）、秋田学習センターにて「2022年度第2学期入学者の集い」が開催され、教養学部21名、大学院1名の新入生が参加しました。新たな学習への思いを胸に新学期が始まりました。
ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

入学者の集いの様子（学長メッセージ）

秋田学習センター入学者数
（令和4年9月16日現在）

【教養学部】

全科履修生	32
選科履修生	19
科目履修生	33
特別聴講生	24
合　　計	108

【大学院】

修士全科生	0
修士選科生	6
修士科目生	4
合　　計	10

※今学期入学された方の中からお二人にご寄稿いただきました。

『自信を持てるように』　　【科目履修生】　松岡　和佳子

恩師に声をかけられ、3月から看護専門学校の専任教員として働き始めました。看護師としての経験年数は少なくありませんが、看護師を目指す学生への教育となると知識不足は否めませんでした。そこで自分の学習スタイルに合い、学びたい科目の学習ができる場はないかと情報収集し、放送大学にたどり着きました。今回、学生に教授する専門領域の知識を深めるために科目履修生として入学しました。働きながらの学習は不安ですが、学びを自分の自信につなげられるよう、スモールステップでも一歩ずつ進んで行こうと思います。そして、この学びを通して人間力を高め、魅力ある教員を目指したいと思います。

私の学習に関わる皆さま方には大変ご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

『自分を見つめ直す』　　【全科履修生】　加藤　翼

私は10年前に高校を卒業し、高卒として社会で働き始めました。当時は「勉強はもうしたくない。早く社会に出てお金を稼ぎたい。」という気持ちが強かったので、大学進学はしませんでした。自分でも軽い気持ちで決めてしまったな、という後悔が今でもあります。

放送大学という文字は日々の生活で時々目にすることはありましたが、本格的に意識するようになったのは今年の6月からでした。私が住んでいる市の広報誌で「放送大学　入学者募集中」と掲載している文面を発見。そこで初めて放送大学について調べ初め、入学して大卒資格を取得したいと思うようになったのが入学のきっかけです。

今回私が選択したコースは、心理と教育コースです。コロナ禍になったことで時間の使い方が大きく変わり、自分の内面と向き合う時間が増えました。自然と人の心の移り変わりや在り方にも興味を持つようになりました。相手の心を知り、人の役に立つことはないか、ということを模索しながら日々学んでいければと思います。現在就いている仕事も、人と接することが多い仕事なので、自身のスキルアップにも繋がりそうです。

社会に出て10年。本当にあっという間でした。今一度学ぶ大切さに向き合い、自分自身を見つめ直し、今までとは違う側面から物事を捉えられるよう一歩ずつ踏み出してまいります。今回の原稿にあたり、自身の気持ちを改めて整理することができました。このような機会を作ってくださったことに感謝しています。ありがとうございます。

秋田をまなぶ講座シリーズ2022

第3回「秋田をまなぶ講座シリーズ2022」講演会は、令和4年9月24日（土）に横手市増田地区多目的研修センターにおいて、好評のうち無事終了いたしました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

来年度も県内各地でのセミナー開催を予定しておりますので、開催の際にはぜひご参加ください！

講座：～ふるさとの「誇り」を目指して～
「まんが美術館の新たな挑戦！！」

9月24日（土）　横手市増田まんが美術館　大石卓館長による講演会の様子

2023年度第１学期学生
（2023年4月入学）募集について

【第1回募集】
◆出願受付期間【郵　送】　　11月26日（土）～2023年2月28日（火）まで（本部必着）
◆出願受付期間【インターネット】11月26日（土）～2023年2月28日（火）24時まで
【第2回募集】
◆出願受付期間【郵　送】　　2023年3月1日（水）～3月14日（火）まで（本部必着）
◆出願受付期間【インターネット】2023年3月1日（水）～3月14日（火）17時まで
※第１回募集と第2回募集の違いは、「合格通知書兼払込取扱票」の送付時期及び印刷教材の発送時期・学費納入期限です。
詳細は募集要項（https://www.ouj.ac.jp/hp/nyugaku/）をご覧ください。

放送大学秋田学習センター主催
放送大学「**大学説明会**」の開催について

放送大学の大学説明会を、秋田学習センターにおいて開催いたします。皆様の身近に、「働きながら学んで大学を卒業したい」もしくは「学びを楽しみたい」と考えている方はいらっしゃいませんか？そういった方に、大学説明会及び相談会が行われることをお話しいただければ幸いです。
また、入学相談は下記日程以外でも常時行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

第１回　2023年　１月２８日（土）午後１時３０分～午後３時
第２回　2023年　２月１９日（日）午後１時３０分～午後３時

内容：大学説明・施設案内・個別相談
開催場所・問合せ先・申込先：放送大学秋田学習センター
〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
（秋田大学内）地方創生センター2号館4階
TEL018-831-1997　FAX018-837-4885

大学説明会（2023年4月入学）を上記の通り開催いたします。学生の皆様の友人、知人、職場の方々に紹介していただければ幸いです。
いつでも、どこでも、だれでも学べる放送大学の素晴らしさを、ひとりでも多くの方に知っていただきたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

２０２２年度２学期の当センター所属の在籍者状況についてお知らせします。在籍者数は**教養学部５１１名と大学院３０名の合計５４１名です。**
１学期と比較すれば、特別聴講生（他大学在籍者）が減った分、10代の在籍者数が減少しましたが、他の年代層は1学期とほぼ同数でした。

大学生

全科履修生	379名
選科履修生	76名
科目履修生	32名
特別聴講生	24名
合　計	511名

性別

男　性	264名
女　性	277名
合　計	541名

年令

１０代	38名
２０代	114名
３０代	65名
４０代	87名
５０代	97名
６０代	74名
７０代以上	66名
合　計	541名

大学院生

修士全科生	7名
修士選科生	19名
修士科目生	4名
合　計	30名

職業別

教員	22名
公務員・団体職員等	67名
会社員等	93名
自営業・自由業	23名
農林水産業等	1名
他大学・専門学校等の学生	68名
アルバイト等	21名
パートタイマー	36名
看護師等	63名
定年退職者	60名
専業主婦（夫）	24名
無職（専業主婦・定年退職者以外）	38名
その他	25名
合　計	541名

市町村別

秋田市	321名	男鹿市	10名	五城目町	2名
由利本荘市	32名	大館市	10名	大潟村	2名
大仙市	29名	八郎潟町	7名	鹿角市	2名
横手市	23名	美郷町	6名	井川町	2名
能代市	21名	仙北市	6名	藤里町	1名
潟上市	15名	羽後町	5名	三種町	1名
湯沢市	14名	北秋田市	5名	東成瀬村	1名
にかほ市	11名	八峰町	3名	小坂町	1名
				県外	11名
				合計	541名

2022年度第2学期　面接授業について

面接授業

面接授業とは、学習センターにて直接講師から指導を受ける授業です。また、学生同士の交流・啓発の場としても広く活用されています。

授業は全8回で、連続する土曜・日曜の2日間で集中して行います。学生種別（全科・選科・科目履修生）やコースに関係なく、教養学部生なら誰でも受講できます。全科履修生は、卒業するために面接授業またはオンライン授業の単位を20単位以上修得する必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、受講者を秋田県内在住者に限定しておりましたが、2022年度第2学期の面接授業については、現時点では対面式による通常の講義（秋田県外在住の学生の受講可）を行っております。受講定員を通常より減らし、各種感染予防対策を講じて実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染拡大等の不測の事態により、学習センター内での授業ができなくなった場合は、「閉講」又は「 Web（Zoom）による実施」となります。

注意事項

・当日は授業開始時刻に遅れないように入室願います。
・あらかじめシラバスで【受講前の準備学習等】【受講者が当日準備するもの】をご確認ください。
・【参考書】は必ず購入しなければならないものではありませんが、講義を理解する上で参考になるものです。学習センターの図書室で閲覧できるものもありますので、ご利用ください。
・秋田学習センターには食堂・売店はありません。秋田大学構内の大学生協も営業は保証できませんので、昼食は各自でご用意ください。
・面接授業を受講する場合のみ、秋田大学の駐車場を利用できます。

授業風景

通常講義

グループディスカッション

フィールドワーク

追加登録

空席がある科目については、追加で募集を行っています。秋田学習センター開設科目の追加登録方法は、下記のとおりです。

授業料は
1科目 5,500円です

《学習センターの窓口で申請》
科目追加登録申請書・学生証・授業料をご持参ください。
（授業料は、おつりのないようご準備願います。）
《郵送による申請》
科目追加登録申請書・学生証のコピー・授業料・返信用封筒（84円切手貼付・宛名明記）を同封のうえ、**現金書留**にて郵送してください。

■ ただし、当該面接授業開講日の1週間前の17:00までの受付となります。
また、受付期間内でも定員になり次第締切となります。
■ 申請書は学習センターにあります。放送大学Webサイトからもダウンロードできます。
■ なお、追加登録の受付方法は各学習センターで異なりますので、当該学習センターへお問い合わせください。

【追加登録を受け付けている科目一覧】　2022.10.15現在

科目区分		科　目　名	担当講師	開　講　日
情　　報	専門	信号処理の基礎～音の解析～	田中　元志	10/22(土)、10/23(日)
生活と福祉	導入	高齢化社会とリハビリテーション	若狭　正彦	10/29(土)、10/30(日)
情　　報	専門	POV-Rayプログラミング	鈴木　一史	10/29(土)、10/30(日)
情　　報	導入	Zoomと情報技術の基礎	横山　洋之	11/5(土)、11/6(日)
人間と文化	専門	秋田藩政の展開と藩主	清水翔太郎	11/12(土)、11/13(日)
一　　般	基盤	新・初歩からのパソコン	佐々木芳宏	11/19(土)、11/20(日)
生活と福祉	専門	妊娠中からの子育て支援	工藤　直子	11/26(土)、11/27(日)
心理と教育	専門	これからの算数・数学教育	加藤　慎一	12/10(土)、12/11(日)
生活と福祉	専門	衣生活を考える	堀江さおり	12/10(土)、12/11(日)
人間と文化	導入	ヴェネツィアの都市と美術	佐々木千佳	12/17(土)、12/18(日)
自然と環境	専門	地球と環境の分析化学	福山　繭子	12/17(土)、12/18(日)

学習センターからのお知らせ

≪ 開 所 時 間 ≫

期　　間	利用時間	視聴学習室・図 書 室	事務室窓口受付
2020年10月1日～当面の間	午前	9:30～12:00	9:15～12:00
	午後	13:00～17:00	13:00～17:00

※12:00～13:00は、昼休みおよび消毒作業時間となります。

来所の際は、必ず事務室窓口で受付を行ってください。

視聴学習室・図書室利用またはゼミの参加なども事務室窓口にて、学生証を提示の上、体温測定を行い健康状況を申告してください。

・体調がすぐれない場合は、来所をご遠慮ください。
・マスクを着用してください。
・アルコール消毒液で手指を消毒してください。
・「3密」にならないよう、ご協力ください。

システムWAKABA等のパスワード変更について

重要！

入学許可書が届いたら、
初期パスワードを変更してください。

◆新しいパスワードの条件◆
・8文字以上であること
・ログイン名を含まないこと
・英字、数字がそれぞれ一文字以上含まれていること

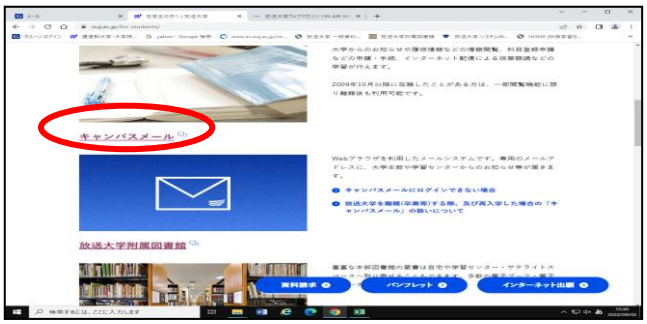
システム利用再開や変更したパスワードを忘れた場合は、学生サポートセンターにご連絡ください。

【お問い合わせ先】
電話番号：043-276-5111
（総合受付）

キャンパスメールについて

「キャンパスメール」（学籍番号@campus.ouj.ac.jp）は、Webブラウザを利用した電子メールシステムです。
・放送大学本部および学習センターからの修学関連事項の連絡
・学生から放送大学本部および学習センターへの連絡手段
・メール機能としての活用

キャンパスメール
緊急時のお知らせや面接授業（Zoomの招待URL）など、大事なお知らせを配信します。定期的に確認するようにしてください。



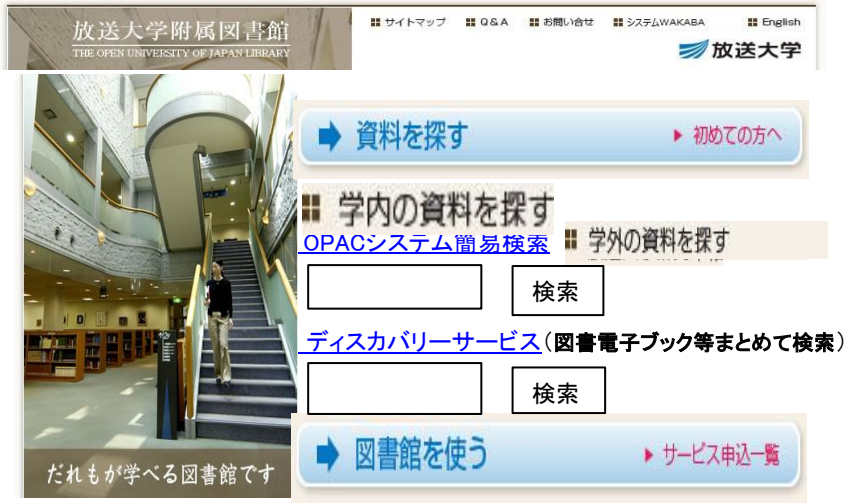
視聴学習室・図書室からのお知らせ

放送大学附属図書館で本を借りる方法について

　放送大学附属図書館ウェブサイトの「**OPACシステム**」で図書資料の取り寄せ申し込みをすることで、学習センターで受け取ることができます。（附属図書館の一般図書のみ）
　在籍中の全学生は自宅配送が利用できます。（配送料自己負担）

※OPACシステム利用法

❶放送大学附属図書館のウェブサイトにアクセス　https://lib.ouj.ac.jp/index.html
❷OPACシステム簡易検索をクリック⇒OPACのトップページに移動
❸検索窓に書籍のタイトルやキーワードを入れ「検索ボタン」をクリックすると、
　書籍検索結果の一覧が表示されます。
❹借りたい図書資料名をクリック。
　取り寄せできるものは、予約が表示されます。
❺受取希望館または自宅配送を選択し、連絡先を確認して申込をクリック。



貸出冊数・機関について

学部生・・・・・・・・・・・10冊
卒研履修・・・・・・・・・20冊
大学院（博士）・・・・・30冊

貸出期間は1ヶ月以内

ログイン画面になったらシステムWAKABAと同じID・パスワードを入力してね

ロッカーおよび座席について

　ロッカーおよび視聴学習室・図書室における座席は、事務室窓口で受付の際、指定しますのでご協力ください。
　学習上必要とする教材以外の所持品（カバン等）は、視聴学習室・図書室に持ち込まないでロッカーをご利用ください。なお、貴重品は身に着けてください。

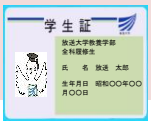
資料などの取り扱いについて

・ヘッドホンは図書受付カウンターにありますので、利用を希望される方は図書受付カウンターに申し出てください。**感染防止の観点から、自分で所有するヘッドホン/イヤホンを持参して使用することをおすすめします。**
・使用済みのヘッドホン、DVD、CD、書籍は返却用ワゴンに返却してください。

放送教材（DVD/CD）の室内視聴

　放送教材は、図書受付カウンターで手続きをすれば、室内視聴が可能です。登録科目以外の放送教材も視聴できます。2020年度以降（大学院は2019年度以降）の新規開設科目につきましては、放送教材（DVD/CD）の配架は行っておりません。配架中の放送教材は、閉講になるまで視聴できます。インターネット視聴では全科目の視聴ができます。
※放送教材の貸出は、現在登録している科目および再試験科目の放送教材を郵送にて大学本部からご自宅に取り寄せることができます。往復の送料は、貸出希望者の負担になります。詳しくは、「学生生活の栞」（教養学部32～35頁、大学院文化科学研究科44～47頁）に記載しております。

事務室からのお知らせ



学生証を受け取りに来てくださいね。

通信指導について

通信指導に合格しなければ単位認定試験が受けられませんので、期日まで必ず通信指導答案を提出してください。

◆通信指導提出期限◆
《Web》
11月8日（火）10時～11月29日（火）17時
《郵便》
11月15日（火）～11月29日（火）本部必着

提出については一部の科目を除き、インターネット上で通信指導問題の提出・解説の閲覧ができる『Web通信指導』が利用可能です。『Web通信指導』で通信指導問題の提出（送信）を行った場合には、郵送による提出は不要です。
対象科目・受講方法については、システムWAKABAをご覧ください。

問題は、印刷教材と一緒に発送しています。（一部の科目については、別送する場合があります。）
発送状況は、システムWAKABA「教務情報→学生カルテ→教材発送情報」から確認できます。
問題が、11月4日（金）までに届かない場合は大学本部（043-276-5111総合受付）にご確認ください。

通信指導の添削結果は1科目ずつ送付され、その合否は同時期に別に送付される「受験票」によって通知されます。添削結果より先に受験票が届く場合もあります。
択一式科目（併用式科目の択一部分）の添削結果が1月6日（金）まで、記述式科目（併用式科目の記述部分）の添削結果が1月16日（月）までに届かない場合は大学本部（043-276-5111（総合受付））へ連絡してくださ い。

※1月10日(火)になっても単位認定試験の受験票が届かない場合、あるいは紛失した場合は大学本部**（043-276-5111総合受付）**へ連絡してください。

Web単位認定試験について

放送大学では、新型コロナウイルスの感染拡大を契機に単位認定試験の実施方法の改善に取り組んでおります。2022年度第2学期の単位認定試験（2023年1月実施）については、Web受験方式（一部科目のみ郵送受験方式で実施）にて実施します。

ご自宅にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等の事情により自宅でのWeb受験が困難な方については、「学習センター受験申請書」を本部に提出することで、学習センターで受験することができます。また、学習センターで操作体験機会を提供します。
※2022年度第2学期単位認定試験の実施方法等の詳しいお知らせは、放送大学ウェブサイト、放送大学から送付の資料などで必ずご確認ください。

秋田学習センターにおけるWeb単位認定試験体験版の操作機会提供について

自宅での操作体験が困難な方を対象に、秋田学習センターで操作体験会を開催します。
〔日時〕
①12月23日（金）10:00～12:00　②12月23日（金）14:00～16:00
③12月24日（土）10:00～12:00　④12月24日（土）14:00～16:00
⑤12月25日（日）10:00～12:00　⑥12月25日（日）14:00～16:00
※各回とも同じ内容です。空席のある場合は、複数回の参加も可能です。
〔定員〕
各回とも10名（定員を超えた回については、個別に日程変更をお願いする場合があります。）
〔場所〕
秋田学習センター実習室
〔予約方法〕
参加希望日の前日までに秋田学習センター窓口または電話（018-831-1997）で事前予約してください。

※パソコン操作が不安の方は、この機会にぜひご参加ください。
特に「学習センター受験申請書」を提出し、秋田学習センターでの受験希望の方は必ずご参加ください。

今後のスケジュール

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

1日　2022年度卒業研究報告書提出期限
　　同時双方向Web授業開始（～2/28）
5・6日　面接授業　『Zoomと情報技術の基礎』
8日　通信指導提出受付開始（web）
12・13日　面接授業　『秋田藩政の展開と藩主』
15日　通信指導提出受付開始（郵送）
19・20日　面接授業　『睡眠とメンタルヘルス』
　　面接授業　『新・初歩からのパソコン』
26日　2023年度第1学期出願受付開始（～3/14）
26・27日　面接授業　『妊娠中からの子育て支援』
　　面接授業　『心理学実験2』
29日　**通信指導提出期限【本部必着】（Web～17時まで）**

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

3・4日　面接授業　『心理学実験2』(追加開講)
10・11日　面接授業　『これからの算数・数学教育』
　　面接授業　『衣生活を考える』
16日　大学院修士論文提出期限
17・18日　面接授業　『ヴェネツィアの都市と美術』
　　面接授業　『地球と環境の分析化学』
23～25日　秋田学習センターにおけるWeb単位認定試験体験会（第1回～6回）
27～28日　臨時閉所日
29～31日　年末閉所日

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1～3日　年始閉所日
4日　臨時閉所日
13日　大学入学共通テストのため入構規制
14・15日　臨時閉所日（大学入学共通テストのため）
17～25日　**学部・大学院単位認定試験（Web・郵送受験方式）**
26日　臨時閉所日
28日　第1回大学説明会（13:30～15:00）

・・・閉所日
・・・通信指導提出期限
・・・単位認定試験日（院・学部）（1/17～1/25）

※年末年始は、12月26日（月）～1月4日（水）まで閉所させていただきます。
※1月14日(土)～15日(日)は秋田大学手形キャンパスが大学入学共通テストの試験会場となりますので、学習センターは臨時閉所させていただきます。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

※予定は変更する場合もありますので、学習センターホームページ等でご確認ください。